

デビュー20周年

江崎昌子

Masako Ezaki Piano Recital

ピアノ・リサイタル

「ポーランド芸術祭2019 in Japan」参加公演

PROGRAM

◆ 第1部 ◆

ユリウシュ・ザレンブスキ

バラと棘 ~ピアノのための5つの即興曲~ 作品13

Juliusz Zarębski: Les Roses et Epines

ミウオン・マギン

3つのポーランド舞曲

Milosz Magin: Triptique Polonaise

フレデリック・ショパン

舟歌 嬰へ長調 作品60

Frederic Chopin: Barcarolle in F sharp major Op.60

◆ 第2部 ◆

フレデリック・ショパン

24の前奏曲 作品28

Frederic Chopin: 24 Preludes Op.28

2019年 **5月1日** [祝・水]

14:00開演 (13:20開場 | 16:00終演予定)

東京文化会館小ホール (JR上野駅公園口前)

2:00 p.m., Wednesday, May 1st, 2019 at Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

S席 ¥4,500 A席 ¥3,500 《ジャパン・アーツ夢倶楽部会員 S席 ¥4,050 A席 ¥3,150》

学生席 S席 ¥3,500 A席 ¥2,500

● 社会人学生を除く公演当日に25歳までの学生が対象。● 夢倶楽部会員で学生の方も同価格。● 12月23日より受付。
※ 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(必ず事前にジャパン・アーツびあコールセンターにお申し込みください。)

【前売開始】

12月23日(日) 10:00 (ジャパン・アーツ夢倶楽部会員: WEB 12月15日(土)・TEL 12月16日(日)) (ジャパン・アーツびあネット会員: WEB 12月20日(木))

【お申込み】

◆ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040 (4月1日から番号が変わります 0570-00-1212) www.japanarts.co.jp/

◆ 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ◆ チケットびあ t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード 133-029)

◆ ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード 32946) ◆ イープラス eplus.jp/

写真: 奥山陽一

ポーランドの心に触れるひととき

ポーランドの心に触れるひととき

～ 日本・ポーランド国交樹立100周年、デビュー20周年、記念リサイタルに寄せて～

湯浅玲子 (音楽学)

十数年前、留学先のポーランドから帰国し、本格的に演奏活動を始めて間もない江崎昌子さんに雑誌のインタビューでお話を伺ったことがある。特に印象深かったのは、留学前からポーランド音楽に強い関心を持ち、ワルシャワでの夏期講習やレッスンにショパンのマズルカをたくさん準備して行った、というエピソードだった。リサイタルやコンクールで聴き映えのするような作品ではなく、迷いなくマズルカを持って行った、という選択に、江崎さんのポーランド音楽への並々なぬ情熱を感じた。自ら異文化に飛び込み、貪欲な姿勢で学び取った成果は、ポーランド人から「ポーランド語で語られた演奏」と認められているところである。

帰国後は、ショパンの全曲録音 (現在進行中) をはじめ、ポーランドの作曲家の紹介に精力を注いでいる。まさにポーランドと日本の文化の架け橋となっているピアニストである。

日本・ポーランド国交樹立100周年となる2019年は、江崎さんのデビュー20周年にもあたる。この記念すべき年のリサイタルでは、前半がポーランドの作曲家の作品、後半に録音が予定されているショパン《24の前奏曲》が演奏される。ポーランドの作曲家からはザレンブスキとマギンという、日本ではあまり馴染みのない作品も入っている。江崎さんは、マギンと交流があったという。

ショパン《24の前奏曲》は、ショパンがJ.S. バッハの伝統を継承、発展させた作品、そしてザレンブスキとマギンはショパンの影響を強く受けた作曲家たちである。まさに、ショパンを中心に、ショパンが学んだ音楽、「ショパン後」のポーランド音楽を俯瞰したプログラムとなっている。

江崎さんの演奏は、端正で気品がある。特にショパンは、行き届いた表現のなかにも、冷静な解釈が垣間見れる。ショパン自身は、標題音楽を好まず、自分の作品が文学的に解釈されることを嫌っていたと言われている。また感情表現についても抑制を効かせた解釈を望んでいたことが記録に残っている。江崎さんのような静謐な演奏に接すると、ショパンが求めていた演奏は、このようなものではなかったか、と気づかされる。

江崎さんが演奏活動の全精力を注いで学んできたと言っても過言ではない「ポーランドの心」。記念の年に触れられることを心から待ち望みたい。



PROFILE

江崎昌子 Masako Ezaki, piano

桐朋学園大学を卒業後、ポーランド・ワルシャワショパンアカデミー研究科修了。

これまでに北村陽子、バルバラ・ヘッセ・ブコフスカ、タチアナ・シェヴァノワ、ジャン・エフラム・バブゼ、セルゲイ・エデルマンの各氏に師事。1995年第6回ミロシ・マギン国際ピアノコンクール第1位 (フランス)、1997年第4回シマノフスキ国際ピアノコンクール第1位及び最優秀シマノフスキ演奏賞 (ポーランド)、1998年第21回サレルノ国際ピアノコンクール第1位及び最優秀デビュー演奏賞 (イタリア)、2005年、第31回日本ショパン協会賞受賞。2010年、ポーランド政府より、外国人に贈られる文化勲章「グロリア・アルティス」を受勲。

ポーランド各地のオーケストラとの共演や、モスクワ放送響、ブラハ放送響、チェコフィル、ウルサン交響楽団 (韓国)、東京交響楽団、新日本フィル、日本フィル、大阪フィルなどと共演。横浜招待国際ピアノ演奏会、NHK・FMリサイタルなどに出演。

CD録音もオクタヴィア・レコードよりポーランドの作品集をはじめ、ショパンのエチュード全曲集、マズルカ全曲集、ソナタ全集、ノクターン全集、バラード&即興曲集、小林仁編曲オーケストラ付き作品集の室内楽版、飯森親範指揮、山形交響楽団とのピアノ協奏曲第2番、また2018年春には日本センチュリー交響楽団とのピアノ協奏曲第1番をリリースするなど、ショパン全曲録音を展開中。

これまでにレコード芸術誌において特選盤となるなど高く評価されている。

各地でレクチャーコンサートや公開レッスン、ショパンコンクール・イン・アジアをはじめとする様々なコンクールの審査員も行っている。現在、洗足学園音楽大学・大学院准教授、日本ショパン協会理事。

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。>

- ① やむをえない事情により、曲目・曲順が変更になる場合がございます。② 公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③ いかなる場合も再発券はできません。紛失等には十分ご注意ください。④ 演奏中は客席に入れません。⑤ 未就学児の同伴はご遠慮ください。また就学児以上の方も、ご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥ この公演は全席指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用、これらに類する行為は固くお断りいたします。⑧ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨ 他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

Twitterで
フォローする
@japan_arts

詩情溢れるショパン演奏家

江崎昌子

CD好評発売中!



ショパン：
ピアノ協奏曲 第1番、
演奏会用アレグロ

[CD&SACD] OVCT-00135
¥3,200 (税別)



ショパン/小林仁編：
4つの管弦楽付
ピアノ作品集
<室内楽版>

[CD&SACD] OVCT-00091
¥3,200 (税別)



ショパン：
エチュード全集
作品10、作品25、
3つの新練習曲

[CD&SACD] OVCT-00020
¥2,857 (税別)



ショパン：ワルツ全集

[CD&SACD] OVCT-00113
¥3,200 (税別)



2cd
ショパン：
ピアノソナタ全集

[CD&SACD] OVCT-00050
¥4,000 (税別)



ショパン：
バラード集
& 即興曲集

[CD&SACD] EXCL-00095
¥2,857 (税別)



ショパン：
ピアノ協奏曲 第2番
& 小品集

[CD&SACD] OVCT-00103
¥3,200 (税別)



2cd
ショパン：
マズルカ全集

[CD&SACD] OVCT-00035
¥4,000 (税別)



2cd
ショパン：
ノクターン全集

[CD&SACD] EXCL-00075
¥4,000 (税別)

2019年春 待望の前奏曲集発売予定!
乞うご期待!

Octavia Records Inc.